

# 平成 28 年度事業報告

## 〔事業活動〕

平成 28 年 3 月 24 日開催の理事会において承認を得た平成 28 年度事業計画に基づき各事業を推進している。その概要は以下のとおりである。

### 1 国際相互理解の促進

#### (1) 講演会、シンポジウム等の開催

##### ア 国際理解講演会等の開催

会員をはじめ道民の国際理解を促進するため、講演会等を開催した。

##### ○「平成 28 年度 国際理解促進セミナー」

6 月 30 日（木） 札幌市 教育文化会館 参加者約 90 名

〈講 演〉「イスラームにおける食とハラール認証」

イスラミックサークルオブジャパン 日本人代表 アフマド前野 氏

##### イ 北方圏講座の開催

北方圏諸国の産業経済や生活文化等に関する蓄積を学び、地域づくりについての情報交換を図るため他団体と連携し開催した。

第 1 回 1 月 27 日（金） 札幌市 ホテルモントレーホテル札幌 参加者約 70 名

1 部 〈講 演〉「スウェーデンに学ぶ～北海道の中小地方都市市街地域の再生」

国土交通省北海道開発局入札監理官(元駐スウェーデン日本大使館一等書記官)

目黒 聖直 氏

2 部 〈ミニコンサート～スウェーデンの伝統音楽と音楽事情〉

歌と説明：野間 美紀 氏（伴奏：野間 友貴 氏）

共催／北海道スウェーデン協会

第 2 回 2 月 24 日（金） 札幌市 かでる 2・7 参加者約 50 名

〈講 演〉「日ロ友好の架け橋に～在札幌ロシア連邦総領事館の 50 年」

在札幌ロシア連邦総領事 ファブリーチニコフ・アンドレイ 氏

共催／NPO 法人北海道日本ロシア協会

##### ウ 北太平洋地域研究事業（国際セミナーの開催）

北東アジアの政治経済・外交に関係する重要テーマについて内外の研究者等を招き、セミナーを開催した。

##### ① 国際情勢シンポジウム・セミナー

##### (i) 「日中韓北極セミナー」

7 月 5 日（火） 札幌市 北海道大学百年記念会館 参加者約 55 名

北極海航路等北極圏域に関わるテーマについて、日本、中国、韓国の研究者がそれぞれの取り組みや研究状況などを発表し議論を深めた。

主催／北太平洋・北極圏研究コミュニティ

（開催地事務局：(一社)寒地港湾技術研究センター）

共催／北海道大学北極域研究センター、(一財)国際臨海開発研究センター、

ハイエック

(ii) 「第6回北海道で考える北東アジア国際情勢シンポジウム～動き出した日ロ新時代～今後の展開を考える」

3月3日(金) 札幌市 京王プラザホテル札幌 参加者102名

パネルディスカッション

コーディネーター：北海道大学スラブ・ユーラシア研究センター教授 岩下 明裕 氏

パネリスト：岩手県立大学教授 黒岩 幸子 氏

(一社)ロシアNIS貿易会ロシアNIS経済研究所次長 齋藤 大輔 氏

毎日新聞北海道支社報道部(根室)記者 本間 浩昭 氏

ハイエック上席研究員兼北太平洋地域研究室長 高田 喜博

② ロシアビジネスセミナー

(i) 「ロシアビジネスセミナー2016」

5月17日(火) 札幌市 北大百年記念会館 参加者約60名

「ロシア経済の展望と極東をめぐる新経済政策～日本・北海道の対応を探る」

<基調講演>① 「2015年のロシア経済と2016年の展望」

北海道大学スラブ・ユーラシア研究センター長・教授 田畑 伸一郎 氏

② 「プーチン政権によるロシア極東新政策」

(一社)ロシアNIS貿易会ロシアNIS経済研究所次長 齋藤 大輔 氏

<円卓会議>コメンテーター：基調講演両講師

在札幌ロシア連邦領事館領事 アルトゥホフ・ユーリー 氏

北海道大学名誉教授 望月 喜市 氏

共催/NPO法人ロシア極東研、北海道大学スラブ・ユーラシア研究センター

(ii) 「ロシアビジネスセミナー～急展開する日露ビジネスの可能性と今後の展望」

10月31日(月) 札幌市 ホテルニューオータニイン札幌 参加者約90名

<講演>①経済産業省大臣官房審議官(通商戦略担当) 中川 勉 氏

②ジェトロ海外調査部主幹 梅津 哲也 氏

③北海道総合商事(株)代表取締役 天間 幸生 氏

<報告>(株)日新 服部 浩司 氏、

道庁国際局 藤島 克己 氏 ほか

主催/ジェトロ北海道

共催/経済産業省北海道経済産業局、北海道、ハイエック

(iii) 「ロシア極東・バイカル地域経済セミナー」

3月10日(金) 札幌市 ホテルポールスター札幌 参加者約50名

<講演>① 「ロシアの東方シフトと東方経済」

ロシア科学アカデミー極東経済研究所長 オリガ・プロカパロ 氏

ロシア科学アカデミー極東経済研究所 パーヴェル・ミナキル 博士

② 「イルクーツク州とバイカル地域の経済状況」

ロシア科学アカデミー・イルクーツク研究センター

ナターリヤ・スイソエヴァ 博士

主催/(一社)ロシアNIS貿易会

共催/ハイエック

(2) 国際関係情報の収集・提供

ア 調査研究・資料収集事業

対外経済交流関係の各種事業に参画して調査・情報収集を行い、季刊誌 Hoppoken 等において成果を発表した。

① モンゴルとの経済交流に関する調査研究

(i) 北海道モンゴル経済交流促進調査会事業

在札幌モンゴル国名誉領事館の呼びかけで設立された「北海道モンゴル経済交流促進調査会」が実施したウランバートル市でのモンゴル北海道投資フォーラム(9月20日)に参加するとともに、モンゴル側の経済交流促進調査会会員企業を迎えて札幌市で開催したセミナーや商談会(平成29年2月6日、7日)に参加協力した。

(ii) モンゴル国を対象とする都市間連携JCM案件可能性調査

(一社)海外環境協力センターが環境省から受託した「平成28年度低炭素社会実現のための都市間連携に基づくJCM案件形成可能性調査事業」に、北海道、札幌市、道内企業とともに参画し、モンゴル・ウランバートル市でのワークショップ(10月27日)札幌市でのワークショップ(平成29年1月20日)を開催した。

(iii) モンゴル国におけるビジネス環境調査

経済産業省北海道経済産業局からの依頼を受け、モンゴル国との経済交流の促進を図るうえで参考となるモンゴル国の政治経済状況や道内企業の参入意向などについて基礎的な調査を行った。

② 境界研究事業

北大スラブ・ユーラシア研究センターが行う国境観光研究に参画し、サハリン州北緯50度線地域の観光資源調査を行うとともに、全国の境界研究者と情報交換などを行い、ボーダーツーリズム(国境観光)の振興策などについて議論を深めた。

③ ロシア連邦シベリア地方(ノボシビルスク)ビジネス環境調査

北海道経済産業局による調査に参加し、ノボシビルスク市での大規模展示会に出展した本道企業のビジネス活動などを取材し、シベリア地方での寒冷地技術・製品分野の新たなビジネス展開の可能性について調査を実施した。

**イ 国際情報ネットワーク事業**

インターネットを活用して国際交流等の情報を集約・蓄積し、広く道民などに提供した。また、Facebookにより、ハイエックなどの事業の実施予定や実施結果に関する情報のタイムリーな発信に努めた。

ホームページアクセス数 4月～3月 月平均 2,700件

**ウ 年報発行**

2016年版を8月に発行し、会員や関係団体、市町村等へ配付した。

**エ 国際協力情報収集提供事業**

道内の国際協力活動などを紹介するため、国際協力情報紙「であい」を3回発行し、会員や関係団体、市町村等に配付した。

**オ 季刊誌「Hoppoken(北方圏)」の発行**

会員をはじめとした道民に、国際理解の促進に資する情報や、国際交流等の取り組みに関する情報を提供することを目的に、年4回、各1,500部発行している。

夏号(176号)7月発行 特集は、「イラン その魅力と素顔」と題し、スキー場が賑わう冬のイラン、2500年に及ぶペルシャの歴史が育んできた文化や親日的な国民性、イスラム革命とその後の米国との関係などを紹介。また、ハイエックなどが開催した「ロシアビジネスセミナー2016」の概要やハイエック平成28年度通常総会の開催結果などを掲載。

秋号（177号）10月発行 特集は、2015年にインドネシアで発生した大規模森林火災を取り上げ、周辺国にも及んだ甚大な被害や消火の障害となった泥炭火災対策に協力する北海道大学の取り組みなどを紹介。昨年8月にサハリン州側が主体となって復活した「サハリン航路」についてのハイエック研究員のレポート、ハイエック主催国際理解促進セミナー「イスラームにおける食事とハラール認証」の開催概要などを掲載。

冬号（178号）1月発行 特集は、100年以上前に北海道で収集されたアイヌ民族の遺骨がドイツの首都ベルリンに残されていた問題を取り上げ、北海道とドイツをつなぐ歴史を辿りながら、遺骨問題の背景、今後の見通しを報告。そのほか、台湾に嫁いだ道産子が自身の日常生活を綴る新連載「台北日記」やハイエック研究員による「サハリン北緯50度国境紀行」参加報告を掲載。

春号（179号）3月末発行予定 特集は、「アフリカは今」と題し、内戦からの難民問題に揺れる南スーダンなどの取材を通じ、普段触れる機会が少ないアフリカ情勢や問題解決の糸口について報告。その他札幌市の姉妹都市であるノボシビルスク市のビジネス環境調査やハイエック後援事業「北方圏国際シンポジウム」の報告記事などを掲載。

### (3) 海外派遣研修

#### ア 海外派遣事業（黒竜江省との青年交流事業）

日中間の友好交流の取り組みや経済交流の状況を把握するとともに、大学生等との交流や文化体験等を通じて、中国への理解を促進するため、道内各地の青年を派遣した。

派遣期間：11月16日（水）～23日（水）

派遣先：中国（哈爾浜市、上海市、北京市）

参加者：道内青年6名

#### イ 高校生・世界の架け橋養成事業

##### ① 高校生・アジアの架け橋養成事業

様々な人々と協働できる国際感覚を持った人材を育成するため、将来の北海道を担う高校生を開発途上国に派遣した。

派遣期間：7月31日（日）～8月7日（日） 派遣先：フィリピン

参加者：高校生10名

その他：事前研修2回、事後研修2回、報告会7回（学校、市民向け）

##### ② 済州国際青少年フォーラム2016

韓国・済州特別自治道と交流関係にある地域からの参加者とグローバルなテーマについてディスカッションを行うとともに交流を深め、相互理解を図るため、同道が主催する青少年フォーラムに道内の高校生を派遣した。

派遣期間：11月3日（木）～7日（月） 派遣先：韓国・済州島

参加者：高校生7名

その他：事前研修3回、事後研修5回、報告会1回（市民向け）

### (4) 多文化共生の推進

#### 外国人にも暮らしやすい地域づくり推進事業

##### ① 多文化共生ネットワーク連携推進協議会との連携

具体的な取り組みを進めるため、道内の国際交流団体間のネットワーク構築に取り組むとともに、協働で多文化共生の実現に資する事業を実施した。

(i) 北海道在住外国人防災教育・訓練促進事業

外国人留学生を対象に、地震などの自然災害について正しい知識を習得するとともに、災害発生時における必要な情報収集や取るべき行動について訓練などを行った。

2月18日(土) 室蘭市 室蘭工業大学共催 参加留学生 24人

(ii) 多文化共生啓発事業

北海道の少子高齢化が全国を上回るスピードで進むとともに、外国人観光客も急増する中、外国人も地域社会を構成する一員として、地域の発展・活性化に資することを目的に講演会を開催した。

12月9日(金) 旭川市 旭川国際交流委員会共催

「インバウンド促進と多文化共生 ～ 外国人も滞在しやすい環境づくり」

講師：多文化共生センター大阪代表理事 田村 太郎 氏

参加者 22人

(iii) 多文化共生コーディネーター研修会

多文化共生社会の実現を目指すため、道内各地域で活動する様々な分野の事業担当者(コーディネーター)を対象に研修会を行った。

10月24日(月) 旭川市 72人 (一財)北海道国際交流センター共催

(iv) 災害支援多言語サポーター募集説明会

3月5日(日) 参加者数 24人 釧路市 釧路国際交流の会共催

② 多文化共生の各種取り組み

道内各地域における外国人との共生に向けた環境づくりを一層推進するため、各種事業を実施した。

(i) 外国人観光客原子力災害退避訓練

国と北海道が実施した「北海道原子力防災訓練」において、事故発生後、余市町において、外国人観光客を速やかに退避させる訓練を行った。

11月14日(月) 余市町 参加者(外国人) 21人

(ii) 多文化共生ワークショップ

総務省から「多文化共生推進プラン」が発表されて10年が経過したことから、(公財)札幌国際プラザ等と共催し、これまでの活動を振り返るとともに、今後を見据えた取り組みを考えるワークショップを開催した。

12月10日(土) 札幌市 参加者 26人

(iii) 世界の料理教室

料理を通じて諸外国の生活・文化について学び交流を深めるため、関係機関と共催のうえ実施した。

10月27日(木) 旭川市 日ロ文化協会「リャビーナ」の会との共催

2月19日(日) 札幌市 北海道フィンランド協会との共催

(iv) 国際交流ボランティアの登録と派遣

登録ボランティア数 42人

(v) 北海道災害支援多言語サポーター登録事業

登録サポーター数 43人

(vi) 外国人サポートデスク

(vii) 留学生支援物品等登録事業

今年度登録数 4件

③ 北海道多文化共生アワード(表彰事業)

本道在住の外国人と道民がともに地域の発展や活性化に貢献できる社会実現のため、人材育成、居住環境、防災、教育、地域づくりなどさまざまな分野において、顕著な取

り組みを行っている団体を表彰した。

表彰団体（優秀賞） 2団体 NPO 法人エスニコ  
留学生フレンドシップ  
表彰式 1月18日（水） 札幌プリンスホテル

## 2 国際交流の推進

### (1) 諸外国との各種交流の実施

#### ア 中国訪問事業

北海道と黒竜江省の友好提携 30周年を迎えたことから、これにあわせてハイエック役員及び北海道青年訪問団を派遣し、北海道及び北海道議会の訪問団とともに記念行事等に出席した。

北海道・黒竜江省友好提携 30周年記念式典等  
11月17(木)日～18日（金） 哈爾浜市

#### イ 北海道外国訪問団受入事業

南米からの北海道出身移住者子弟の訪問団を受け入れ、「父祖の地・北海道」について理解を深め、一層の友好親善に資するため、本道関係者との交流や道内企業の視察等を実施した。

受入期間 1月31日（火）～2月7日（火）  
アルゼンチン青年訪問団 6名

#### ウ 日韓交流事業

北海道と韓国との特色ある交流・協力を創出するため、高齢化社会に対応したローカルスポーツを韓国（慶尚南道）に紹介し、交流を行っている。

本年は、北海道と慶尚南道との交流趣意書締結10周年を迎えたことから、記念事業として両地域の大学生によるミニバレー青年交流事業を実施した。

派遣期間 8月30日（火）～9月2日（金）  
派遣団 21名（ハイエック、北海道ミニバレー協会など）  
交流場所 慶尚南道（巨済市、昌原市）

#### エ 韓国青年訪日団受入事業

「対日理解促進交流プログラム～JENESYS2016」により（公財）日韓文化交流基金が招聘する韓国青年の受入事業において、北海道における地方プログラムとして、ホームステイや学生交流、企業視察、ソーラン節などの日本文化体験などを実施した。

道内受入期間 2月3日（金）～8日（水）  
韓国青年訪問団 全78名（うち学生68名）

#### オ 北海道青少年中国派遣事業

中国政府（在札幌中華人民共和国総領事館）の招待により、道内の青少年を中国に派遣し、高校・大学生等と交流を行うとともに、歴史・文化施設の見学や体験を通じて、中国に対する理解を深めた。

派遣期間：8月6日（土）～14日（日）  
派遣先：哈爾浜市、西安市、上海市、北京市  
参加者：高校生13名、大学生リーダー3名

## (2) 留学生と道民との交流

### ア 外国人留学生国際交流支援事業

道内大学に対する外国人留学生受入れ促進を支援するため、外国人私費留学生に修学助成を行うとともに、助成金受給者を「外国人サポーター」として登録し、地域の交流事業への参加等を促進した。(修学助成 月額1万5千円、50名)

### イ 外国人留学生受入促進事業

外国人留学生の受入れを促進するため、海外の関係機関や大学・学生等に対し、道内大学のプロモーションを行った。

① プロモーションサイトの運営 (<http://study-hokkaido.com>)

② 留学ガイドブックの作成、配布

③ 日本留学フェア(日本学生支援機構主催)への参加

ベトナムにおいて、学生等へのプロモーション及び北海道や大学関係資料を配付した。

10月15日(土) ハノイ会場 ブース来場者約150名

10月16日(日) ホーチミン会場 ブース来場者約120名

④ 帰国者留学生向けメールマガジンの発行

帰国した外国人留学生に対し、北海道の今の様子や就職など各種情報を提供するメールマガジン「留学生サポーターだより」を発行し、本道の理解促進を行った。

(年3回)

### ウ 留学生等地域交流の実施

外国人留学生等の北海道に対する理解を促進するとともに、地域住民との交流を推進するため、地域イベントへの参加や交流会を開催した。

北海道留学生ふれあい交流 in しもかわ (中島記念国際交流財団助成事業)

8月28日(日)～29日(月) 下川町 参加留学生18名

## (3) 海外移住者への支援

### ア 移住者支援事業

北海道出身移住者で組織する各道人会の活動等を支援するため助成を行った。

ブラジル北海道文化福祉協会、在亜北海道人会

全パラグアイ北海道人会連合会、サハリン道人会

### イ 移住者子弟留学生受入事業

南米圏交流を促進するため、北海道出身移住者の子弟を留学生として受け入れ、修学を支援した。

受入 ブラジル 1名

就学先 北海道大学大学院工学研究院

## (4) 各種交流事業への助成

### 国際交流助成事業

世界各地との交流を促進し、北海道の生活文化や産業経済の発展に寄与するため、国際交流事業資産の運用益により、道内の交流団体等が実施する各種交流事業に助成した。

助成対象事業名	主催者	助成額(千円)
ソウルフレンドシップフェア 「文化公演」	(特非) 民族歌舞団こぶし座	100
シベリウスの食卓 ～シベリウスの音楽とフィンランドの料理 を愉しむ会～	日本シベリウス協会北海道支部	200
NPG カナダ文化交流プロジェクト	芸森スタジオ音楽交流組織委員会	100
札幌芸術の森国際ユースジャズキャンプ	(公財)札幌市芸術文化財団	200
日本・カナダアイスホッケー国際交流会	同実行委員会	150
北海道・ロシア極東交流事業 (青少年「体験・友情」の船、市民交流会議)	北海道・ロシア極東交流事業 実行委員会	500
第6回フィンランド一日大学2016	北海道フィンランド協会	200
国際協力フェスタ2016	北海道 NGO ネットワーク協議会	100
シンガポールスタディツアー	(一社) 滝川国際交流協会	100
世界のこどもフェスティバル2017開催事業	世界のこども	200
計 10 事業		1,850

## (5) 地域、諸団体との連携

### ア 地域連携ネットワーク事業

各地域や交流団体間の連携を促進するため、国際交流・協力活動等についての情報交換などを図る懇談会を開催した。

#### 国際交流地域懇談会

- 7月25日(月) 留萌市
- 10月6日(木) 倶知安町
- 12月8日(木) 岩見沢市
- 12月14日(水) 札幌市

※ 道央エリアを対象に多文化共生に関する基礎的情報の共有を目的とし、「多文化共生講演会」を開催した。

### イ 外国公館交流促進事業

在道の総領事館、領事館、通商事務所、名誉領事館等と連携し、地域の国際化を推進するための取り組みを実施した。

#### ① 在北海道外国公館・通商事務所等協議会 総会

5月28日(金) 札幌市 札幌プリンスホテル 国際館パミール

#### ② 学校訪問事業

道内中学校・高等学校からの要請に基づき、在道外国公館の総領事等が学校を訪問するなど、生活・文化の紹介や交流を実施し、相互理解を深めた。

- 8月29日(月) 札幌大通高校
- 9月29日(金) 札幌しらかば台小学校
- 10月7日(金) 室蘭本室蘭中学校
- 10月21日(金)、28日(金) 札幌清田高校
- 11月30日(水) 札幌南が丘中学校



③ インターナショナルウィーク

在北海道外国公館・通商事務所等協議会を構成する外国公館及び名誉領事館等が連携し、各国の文化や歴史などについて紹介するため、パネルや映像資料による展示・PR展、伝統舞踊や音楽演奏などの文化紹介パフォーマンスを行うとともに、道民の皆さんに外国公館を身近な外国として感じていただくため、各国の総領事などと交流する機会を設定し、異文化交流や国際理解の促進を図った。

展示・PR 11月28日(月)～30日(水) 札幌駅前通地下歩行空間  
文化紹介パフォーマンス 11月28日(月)～30日(水) 〃  
来場者数(延べ人数) 約10,800人

④ 新年交礼会

協議会の構成員である各国外国公館の総領事や名誉領事はもとより、北海道、札幌市をはじめとする官公庁、道内経済界や大学、報道機関、さらには国際交流・協力団体などの皆様方のご参加をいただき、「在北海道外国公館・通商事務所等協議会」主催による新年交礼会を開催した。

1月18日(水) 札幌プリンスホテル 国際館パミール 参加者78名  
・主催者挨拶 ドイツ名誉領事(協議会副会長)  
・来賓挨拶 北海道副知事、札幌市副市長  
・新年の乾杯 北海道経済産業局長  
・閉めの祝杯 北海道開発局長

ウ 他団体との連携による交流事業

① カルチャーナイト

カルチャーナイトに参加し、道民に「世界のあそび」や「世界の民族衣装試着」など諸外国の文化体験の機会を提供した

7月22日(金) ハイエック会議室ほか 来訪者 81人

② 全国中国語スピーチコンテスト北海道大会

10月23日(日) 札幌市 かでる2・7 北海道日中友好協会との共催

③ インターナショナルナイト

世界の青年の国際的なふれあいの場とするため、北海道青少年科学文化財団などと共催し、留学生と日本人学生等によるディスカッションや交流会を開催した。

12月13日(日) かでる2・7(主会場)  
参加者 日本人252人、外国人35カ国74人

④ 国際交流「DAY」事業

北海道と姉妹・友好提携地域とのより一層の交流拡大を図るため、北海道と共催して、各提携記念日等にそれぞれの地域の文化紹介イベントを開催した。

韓国・慶尚南道 6月6日(月)～8日(水)  
中国・黒竜江省 6月13日(月)～15日(水)  
カナダ・アルバータ州 9月5日(月)～7日(水)  
ロシア・サハリン州 11月25日(金)  
韓国(釜山広域市、慶尚南道、ソウル特別市、済州特別自治道)  
1月12日(木)～13日(金)  
アメリカ・マサチューセッツ州 2月6日(月)～8日(水)  
タイ・チェンマイ県 2月23日(木)～24日(金)

⑤ 国際交流定例講演会

5回開催 5月19日(木)、6月28日(火)、7月25日(月)、11月24日(木)、  
1月13日(金) 北海道国際女性協会との共催

### 3 国際協力の推進

#### (1) 開発途上国向けの JICA 研修事業への参画

##### JICA 研修事業の実施

JICA 北海道国際センター（札幌）が実施する研修事業の一部を受託し、研修実施機関とのカリキュラムの調整や研修のコーディネートを行った。

期 間	研修コース名
7月4日～7月20日	国別研修（ユートピア・ワールド・コミュニティ開発計画策定能力強化）
6月6日～8月23日	課題別研修（上水道施設技術総合(B)）
9月2日～10月28日	課題別研修（認証制度やブランド化を通じた森林資源の総合利用による地域振興）
9月5日～10月7日	課題別研修（官民連携による地域観光マーケティング）
1月9日～2月3日	課題別研修（サブサハラアフリカ地域地方教育強化）
2月6日～2月24日	国別研修（ウガンダ国アチョリ・西ナイル地域コミュニティ開発計画策定能力強化）
7月1日～3月31日	草の根技術協力（ウツバートル市送配水機能改善協力）事業

#### (2) 海外からの研修員の受入

##### 海外研修員受入事業

南米圏の北海道出身移住者の子弟を技術研修員として受け入れ、技術研修を行った。

受 入 2名（パラグアイ1、アルゼンチン1）  
 研修先 北海学園大学工学部  
 北電力設備工事株式会社

### 4 ハイエック後援事業

	実施日	事業名	主催団体
1	5/25	マグヌス・ローバック大使講演会 「Sweden-a multicultural society?」	(一財)スウェーデン交流センター
2	5/27、29	シベリウス生誕 150 年記念『祝祭シベリウスフェスティバル in Sapporo』～親愛なる声シベリウスの歌曲～	日本シベリウス協会北海道支部
3	9/15	第14回APF日米中ロ4か国フォーラム	(一社)アジア太平洋フォーラム
4	9/17	外国人医療を考えるフォーラムV	(特非)エスニコ
5	8/19	2016年全華連高球北海道地区大会	北海道中国会
6	9/20	第23回国際親善交流特別演奏会 (日本・ルーマニア文化交流演奏会)	日本音楽文化交流協会
7	10/25～26	グアテマラ・マヤの神話「ポポルヴフ」北海道公演	在札幌グアテマラ共和国名誉領事館 グアテマラ・マヤ文化協会
8	11/3	第6回フィンランド一日大学	北海道フィンランド協会
9	11/4	北海道モナコ公国交流セミナー	学校法人北斗文化学園
10	11/16～11/18	第32回寒地技術シンポジウム	(一社)北海道開発技術センター

11	11/18～11/20	第37回NHK杯カーリング選手権大会	実行委員会
12	11/20	プラン・インターナショナル・ジャパン映画上映会 「Girl Rising～私が決める、私の未来～」	(公財)プラン・インターナショナル・ジャパン
13	12/8	フィンランド独立100年記念演奏会シリーズ No.1 『151歳 J. シベリウスによせて』	日本シベリウス協会北海道支部
14	12/10	第4回『「国際田園都市」TAKIKAWAの20年後』 プレゼンテーションコンテスト2016	(一社)滝川国際交流協会
15	1/15	SAPPORO こども領事2017～姉妹都市スペシャル～	(公財)札幌国際プラザ
16	2/6～2/11	第58回旭川冬まつり	実行委員会
17	2/12	第27回おおたき国際スキーマラソン	実行委員会
18	2/19～2/22	第32回北方圏国際シンポジウム-オホーツク海と流氷-	実行委員会
19	2/25～2/26	第29回昭和神山国際雪合戦	実行委員会
20	3/12	第4回フィンランドセミナー 「フィンランドスタイルのイースターを楽しむお話し会とワークショップ」	北海道フィンランド協会

## 〔管理部門〕

### 1 会員の状況

平成28年4月から平成29年3月までの間においては、会員の加入が22件（個人会員11件、法人会員11件）、退会が37件（個人会員17件、法人等会員20件）あり、会員数は15の減となった。

区 分	平成28年度 当初会員数	平成28年度増減			平成28年度末 会員数	
		入会数	退会数	差引増減		
個人会員	一般会員	140	9	17	△8	132
	学生等会員	1	1	0	1	2
	主婦(夫)等会員	1	0	0	0	1
	シニア会員	20	1	0	1	21
	特別会員	5	0	0	0	5
	個人会員計	167	11	17	△6	161
法人等会員	473	11	20	△9	464	
合 計	640	22	37	△15	625	

## 2 会議の開催

平成 28 年度においては、これまで次の通り理事会及び総会を開催した。

### (1) 理事会

#### ア 平成 28 年度第 1 回理事会

平成 28 年 5 月 23 日(月) 13:30～ ホテル札幌ガーデンパレス  
出席 理事総数 29 名のうち 16 名、監事 2 名のうち 1 名  
内容 平成 27 度事業報告を承認  
平成 27 度決算を承認  
通常総会の招集を議決  
理事及び監事の選任案を了承  
顧問の委嘱を承認

#### イ 平成 28 年度第 2 回理事会

平成 28 年 6 月 20 日(月) 14:30～ ホテルポールスター札幌  
出席 理事総数 29 名のうち 20 名、監事 2 名のうち 2 名  
内容 会長、副会長及び専務理事を選定

#### ウ 平成 28 年度第 3 回理事会

平成 29 年 3 月 23 日(木) 13:30～ ホテル札幌ガーデンパレス  
出席 理事総数 29 名のうち 20 名、監事 2 名のうち 1 名  
内容 平成 29 年度事業計画及び予算を承認  
予算の補正に関する専決処分を承認  
顧問の委嘱を承認  
新顧問 今日出人 北海道開発局長

### (2) 総会

平成 28 年度通常総会

平成 28 年 6 月 20 日(月) 13:30～ ホテルポールスター札幌  
出席 会員総数 617 のうち 427 (出席 75、委任状出席 352)  
内容 平成 27 年度決算を承認  
平成 27 度事業報告を報告  
平成 28 度事業計画及び予算の理事会決定を報告  
理事及び監事を選任 (理事 29 監事 2)

### 附属明細書

事業報告の内容を補足する重要な事項が存在しないため、作成しない。